

## 環境保全施設整備計画に関する事前評価用チェックシート

都道府県名	神奈川県	計画期間	令和 2 年度～令和 6 年度
個別地域名	富士箱根伊豆国立公園（箱根地域）	評価年度	令和 元 年度
1 事業の必要性			チェック欄
★ (1)	事業区域の自然環境、施設整備の現状及び利用の動向等から、長寿命化に資する事業を実施する必要性が認められる。		○
★ (2)	上位計画との整合性が確保されている。		○
★ (3)	同じ国立公園の直轄事業との整合性が確保されている。		○
★ (4)	環境保全施設整備交付金取扱要領の 1 に定める交付対象事業等で事業ある。		○
2 事業の有効性			チェック欄
★ (1)	既存施設の長寿命化に資する整備でその効果が見込める。		
★ (2)	個別施設計画を策定する必要がある施設である。		
★ (3)	単年度当たりのライフサイクルコストの縮減が見込める。		
(4)	施設に劣化が認められる。		
3 目標と指標の妥当性・実現可能性			チェック欄
★ (1) 目標と指標の妥当性			
	① 目標に対応した適切な指標が設定されている。		○
	② 指標及び数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
(2) 経済性			
	コストの削減に努めるなど経済性に配慮している。		
(3) 自然環境等への配慮			
	自然環境や地球環境に対し、以下のような配慮をした事業である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備による風景への影響を最小限とするよう配慮</li> <li>・ 省エネの推進や再生エネルギーの活用</li> <li>・ 地域材等の天然材料等、生態系に配慮した資材の利用</li> <li>・ 外来種の持ち込み対策等に対する施工上の配慮</li> <li>・ 木材を利用する場合に間伐材を使用</li> <li>・ 廃棄物が発生する場合にリサイクル等を推進</li> </ul>		
★ (4) 実現可能性			
	① 関係機関や地域との合意が形成されている。		○
	② 整備完了後適切に維持管理が実施される予定である。		
	③ 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		

注：★は必須項目